



一般社団法人 巨樹の会

宇都宮リハビリテーション病院

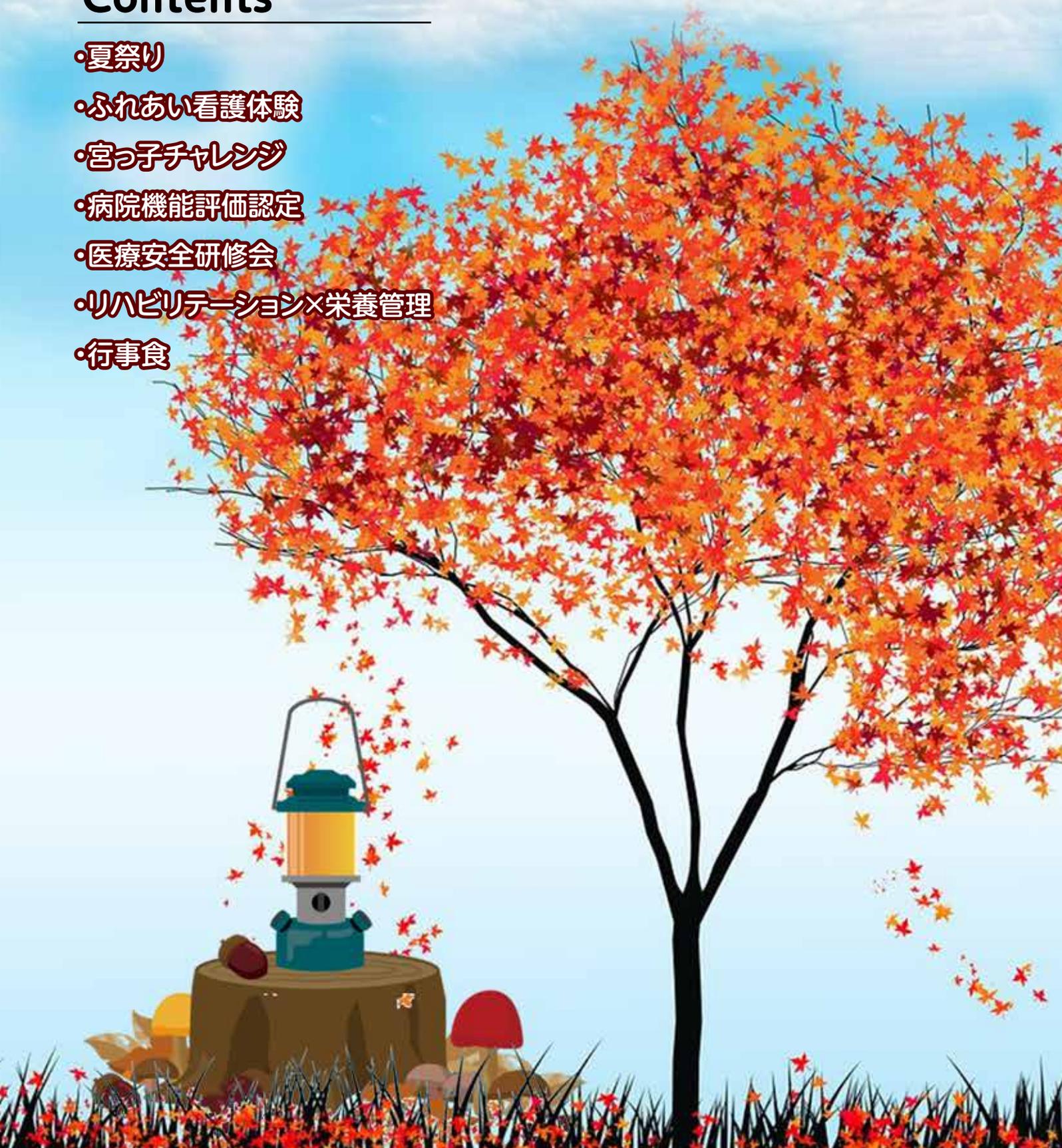
みやり、通信

2024 Autumn

Vol. 52

Contents

- 夏祭り
- ふれあい看護体験
- 宮っ子チャレンジ
- 病院機能評価認定
- 医療安全研修会
- リハビリテーション×栄養管理
- 行事食



夏祭り

8月30日(金)コロナ禍明け初めての夏祭りをリハビリテーション室で開催しました。
チーム対抗の玉入れ大会を行い、患者様に夏祭り気分を味わっていただきました。
白熱したプレーもあり 笑顔もあり
残暑の暑さを吹き飛ばす楽しいひとときとなりました。



ふれあい看護体験

当院では、実際の看護に触れ、感じることでできる「ふれあい看護体験」を毎年開催しています。

今年は看護師を目指す高校生の皆さんに参加して頂きました。午前中は病棟のレクレーション、バイタルサインの測定、シーツ交換などを体験し、午後からは個別リハビリの見学やAEDによる救命処置訓練に挑戦して頂きました。



ふれあい看護体験を通し学生の皆さんからは、「知識がないとできないことが多く、看護師の素晴らしさを改めて知った。」「AEDの使用を実際に体験できて、勉強になった。」「看護師を考えていたが、他にも沢山の仕事があると分かったのでいろんな分野の仕事に興味を持った。」など嬉しい感想を聞くことが出来ました。今回の体験が将来医療職を目指すきっかけになれば幸いです。

参加された学生の皆さん、ありがとうございました。

宮っ子チャレンジ

6月中旬、豊郷中学校5名の皆さんが社会体験学習《宮っこチャレンジ》に参加してくれました。看護師やリハビリ・事務職など様々な職種のお仕事体験や入院患者様との交流を深める時間となりました。車椅子・ストレッチャーの乗車、血圧測定、シーツ交換など生徒さんが実際に体験し、患者様やスタッフが日頃使用している物に触れることも出来ました。



午後からは、患者様と輪になってデイルームの飾り付け用に折り紙を折りました。「孫のような学生さんと一緒に作れて楽しかった。」と患者様にも喜ばれ、お互いにとって良い思い出と体験になりました。

参加された中学生の皆さん、ありがとうございました。

病院機能評価認定

宇都宮リハビリテーション病院は2024年6月7日に公益財団法人日本医療機能評価機構より「機能種別版評価項目3rdG:Ver.3.0」の認定を取得しました。

病院機能評価とは、第三者機関である日本医療機能評価機構が実施するもので、診療機能、患者対応、医療の質、安全管理など、病院の様々な側面を審査します。この評価を通じて、当院が高い水準の医療サービスを提供していることが証明され、患者様により安心して医療を受けていただけます。

今後も信頼される医療機関として、安全で質の高い医療を提供できるよう努めて参ります。



医療安全研修会「認知症患者の関わり方のコツ」

医療安全管理委員会では、7月16日に「認知症患者の関わり方のコツ」をテーマとした全体研修を開催しました。講師として新久喜総合病院から認知症看護認定看護師をお招きし、認知症患者に対する適切な対応法や、身体拘束の削減に向けた取り組みについてご講義いただきました。

今回の研修を通じて、すべての職種が認知症に対する理解を深め、協力して患者様を支援することの大切さを改めて認識する機会となりました。



リハビリテーション × 栄養管理



低栄養状態でリハビリテーションを行うと、不足したエネルギーを作り出すために筋肉が分解され、かえって筋肉量が減少してしまいます。特に高齢の方は自覚が無くても低栄養と認められることも多いため、身体の筋肉量・水分量を測定しながらリハビリテーションを進めていくことが重要です!!

当院では **体成分分析装置 “InBody (S10)”** を導入しています。



<実際に測定している様子>

当院ではベッド上に寝た状態で測定できます。

InBodyでは、体の各部位の筋肉や水分、脂肪の量を測定することができます。測定したデータからサルコペニア(*)の評価や浮腫(体のむくみ)の評価を行い、患者様へリハビリの効果についてフィードバックを行っています。

(*)サルコペニア:筋肉量が減少し、筋肉や身体機能が低下した状態



昨今の診療報酬・介護報酬改定において、リハビリテーション・栄養管理及び口腔管理の連携・推進が揚げられています。

当院においても、リハビリ専門職、管理栄養士、看護師など多職種が連携し、より効果的な自立支援・重度化予防に繋げることを目指し取り組んでいます!!

行事食



メニュー

夏の和御膳

- 穴子ちらし
- 清まし汁
- ふんわりしんじょ
- すいか



栄養科からのコメント

穴子ちらしは、穴子の甘さを引き立たせるために酢飯の酢の加減を調整しました。
ふんわりしんじょは彩りにこだわって盛り付けをし、夏らしさを感じて頂けるように、
甘いすいかを添えました。

全体的に彩り鮮やかで患者様からも好評でした。



患者様からの声

- ・めずらしいメニューでご飯が進みました。
- ・すいかを食べる事ができて、夏を感じました。
- ・穴子やすいかなど普段食べられないメニューで嬉しかったです。
- ・人参の形が花形で華やかでした。
- ・彩りがよかったです。



むすび♡プロジェクト



「むすびプロジェクト」は当グループのリハビリ病院を退院された患者さまが、その人らしく生きいきと生活していただけるよう、支援するための取り組みです。今回はその取り組みのひとつをご紹介します。

「福祉と医療の連携を考える会」参加&発表

福岡県を中心に活動されている、「NPO法人 列島会」「社会福祉法人 あきの会」「NPO法人 ゆとり」（以下、3法人）が合同で開催する「福祉と医療の連携を考える会」へ参加しました。3法人は多岐にわたる福祉事業を展開されており、事業内容は訪問看護・介護、グループホーム、療養介護、医療型児童入所施設、就労継続事業、計画相談など幅広い支援をされています。

当日は、「高次脳機能障害の医療と福祉」についてシンポジウムが行われました。当事者家族の生の声や、行政、支援事業所の活動や思いなどを聞くことができ、高次脳機能障害への理解をより深く理解することができました。また、この会には地域の方も参加されており、高次脳機能障害の理解と地域活動を広げる機会となりました。

トピックス発表でむすびプロジェクトの活動報告、公式LINEで行っている退院後の支援、復職・就労支援が必要な患者さまへの取り組みを中心に発表させていただきました。この発表を通じて、今後も3法人とむすびプロジェクトの連携を深め、回復期リハビリ病院に入院される方、退院された方へより良いサービスが提供できるよう取り組みます。






宇都宮リハビリテーション病院 交通のご案内

電車でのご来院	バスでのご来院
<ul style="list-style-type: none"> ● JR宇都宮駅から車で約15分 ● JR岡本駅から車で約5分 	<ul style="list-style-type: none"> ● 関東バス JR宇都宮駅東口 岡本駅西口行に乗り 宇都宮リハビリテーション病院前で下車(0分) JR岡本駅西口 宇都宮駅東口行に乗り 宇都宮リハビリテーション病院前で下車(0分)

宇都宮リハビリテーション病院 広報誌



2024 Autumn Vol.52 (令和6年9月発行)

企画発行



宇都宮リハビリテーション病院

日本医療機能評価機構認定病院

〒321-0982 栃木県宇都宮市御幸ヶ原町43-2

TEL:028-662-6789(代表) FAX:028-660-1041

(広報委員会)